

医療の原点は、
慈愛にあり。



公益財団法人 慈愛会



公益財団法人 慈愛会
理事長 今村 英仁

慈愛会は、昭和9年5月5日、初代理事長 今村源一郎が、産婦人科医院を開設したのが始まりです。僅か数名で始まった当法人は、「患者様を肉親と思い、医療（ヘルスケア）の達人（プロフェッショナル）を目指す」事を、「医療の原点は慈愛にあり」という一文の理念に掲げ、今日まで地道に地域医療に専念して参りました。

多くの地域の皆様に愛され、ご支援を戴きましたお蔭で、平成23年鹿児島県の公益財団法人の認可を受けました。

（１）地域が必要とする高度・専門的な医療の提供

（２）医療・介護・福祉が一体となった総合的な介護・福祉サービスの提供

（３）地域の医療を担う人材育成

この3大事業を柱とする「公益目的事業」を遂行するのが当法人の役割です。

昭和、平成、令和と3つの年代を経て85年以上の歴史を刻むことが出来たのも地域の皆様がいとも温かく、時には厳しく叱咤激励を下さいましたお蔭です。法人を代表しまして心から感謝申し上げます。

さて、ここ2年間程は、いまだかつて経験したことのない新型コロナ禍が日本を襲っています。当法人では、当初から積極的にこの災禍に向き合い対応してきました。それぞれの事業所が、持てる能力を最大限に発揮して新型コロナに対応すると同時に、既存の医療・介護・福祉事業を守ってきています。どのような形でこの災禍が収束するのか、まだまだ予想がつかないところですが、私たちは、BCP(事業継続計画)をしっかりと立て、今までと変わらず、「鹿児島県の保健・医療・介護・福祉・教育複合体」として活動を進めてまいります。

理念

医療の原点は、慈愛にあり。

母が子を慈しみ育てる心、
愛を持って病める人の苦しみを除く。
慈しみ、愛する心
その素朴で純粋な気持ちが
慈愛会の医療理念です。

基本方針

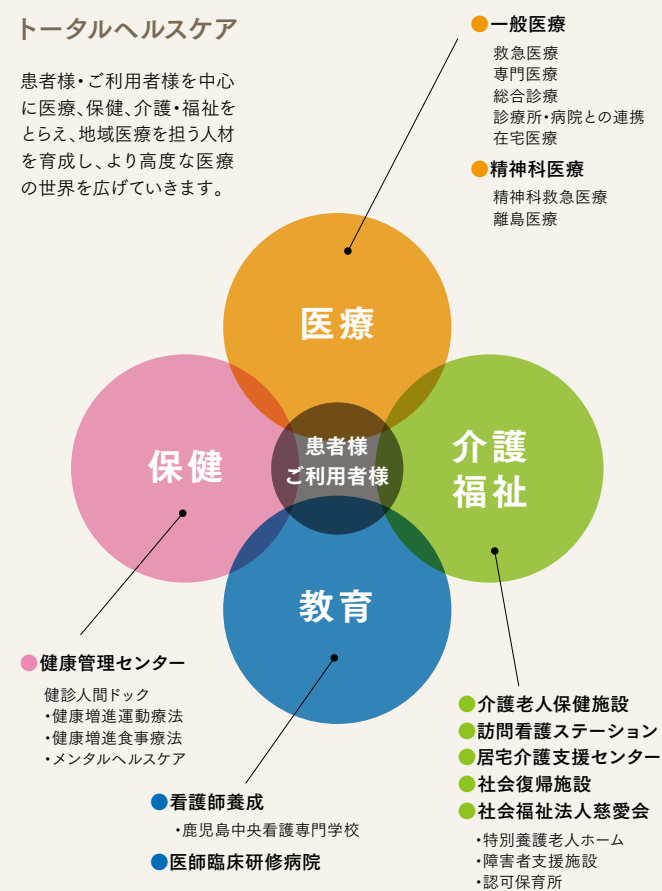
公益財団法人慈愛会は「医療理念」を実践するために5つの項目を掲げて質の向上を図っています。

- 1 医療を通して地域社会へ貢献します。
- 2 良心的な高度医療を提供します。
- 3 心に届く慈愛の看護を実践します。
- 4 快適な医療環境を提供します。
- 5 働きがいのある職場環境を目指します。

患者様を肉親と思い、
医療の達人（プロフェッショナル）を目指します。

トータルヘルスケア

患者様・ご利用者様を中心に医療、保健、介護・福祉をとらえ、地域医療を担う人材を育成し、より高度な医療の世界を広げていきます。



沿革

昭和 9年 5月	鹿児島市堀江町に「今村産婦人科医院」開業(今村源一郎)
昭和 12年 4月	鹿児島市泉町に「今村病院」(今村産婦人科を改称)新築移転
昭和 25年 5月	「財団法人今村病院」設立認可 理事長今村源一郎就任
昭和 28年 10月	「谷山病院」開設
昭和 29年 12月	「財団法人慈愛会」と改称
昭和 34年 9月	「奄美病院」開設
昭和 38年 4月	「谷山看護学校」開設
昭和 40年 10月	「徳之島病院」開設
昭和 51年 4月	「鹿児島中央高等看護学校」開設
昭和 52年 4月	「谷山看護学校」と「鹿児島中央高等看護学校」を合併し、「鹿児島中央看護専門学校」に改称(専修学校の認定を受ける)
昭和 53年 6月	財団法人慈愛会 理事長今村源一郎退任 理事長今村一英就任
昭和 59年 4月	「今村病院分院」開設
平成 6年 6月	鹿児島市堀江町に「今村病院」移転新築
平成 8年 7月	「介護老人保健施設 愛と結の街」開設
平成 9年 12月	「訪問看護ステーション愛の街」開設
平成 11年 3月	「在宅介護支援センター愛と結の街」開設 (平成19年2月法改正に伴い、「居宅介護支援センター愛と結の街」に変更)
4月	「通所授産施設ステップ」開設 (平成21年7月法改正に伴い、「就労支援センターステップ」に変更)
4月	「地域生活支援センターひだまり」開設 (平成18年10月法改正に伴い、「地域活動支援センターひだまり」に変更)
4月	「グループホームハーモニー&アンダンテ」開設
8月	「ヘルパーステーション結の街」開設
平成 12年 4月	「認知症対応型グループホーム愛と結の街」開設
平成 14年 9月	「きょうクリニック」開設
12月	「訪問看護ステーションイルカ」開設
平成 15年 4月	「鹿児島中央看護専門学校」3年課程開設
7月	「奄美病院」新築建替
平成 16年 10月	財団法人慈愛会 理事長今村一英退任 今村英仁就任
11月	「デイサービスはなぶさ」開設
11月	「社会復帰促進施設ほがらかハウス」開設 (平成22年1月「住宅型有料老人ホームほがらかハウス」に変更)
平成 17年 2月	「グループホームひまわり・たんばば」開設
4月	「通所授産施設あいらぐま」開設 (平成22年4月法改正に伴い、「指定障害福祉サービス事業所あいらぐま」に変更)
6月	「グループホームうんばた」開設
平成 18年 1月	「慈愛会七波クリニック」開設(平成20年5月「七波クリニック」に名称変更)
4月	「デイサービスあしたの風」開設
4月	「福祉ホームB型しらゆりの郷」開設(平成21年4月法改正に伴い、「グループホームハーモニー&アンダンテ」を合併し、「グループ・ケアホームしらゆりの郷」に変更)
4月	「鹿児島中央看護専門学校」2年課程(通信制)開設
7月	「谷山病院」新築建替
11月	「すまいるリハビリテーションクリニック」開設(平成19年5月「すまいるクリニック」に名称変更)
平成 21年 11月	「高麗町クリニック」開設(「すまいるクリニック」を改称移転)
平成 22年 5月	「デイサービスいぶき」開設
平成 23年 4月	「公益財団法人慈愛会」へ名称変更(法改正による移行設立)
平成 24年 11月	「徳之島病院」新築建替
平成 26年 5月	創設80周年 「指定特定相談支援事業所 あゆみ」開設
12月	「ウェルネスあい」開設
平成 29年 6月	「今村病院」を「いづろ今村病院」へ名称変更 「今村病院分院」を「今村総合病院」へ名称変更
10月	「慈愛会健康管理センター」開設(いづろ今村病院)
平成 30年 4月	「慈愛会教育開発センター」開設 「臨床研究センター」[HTLV-1研究センター]開設(今村総合病院) 「慈愛会糖尿病センター臨床研究室」開設(いづろ今村病院)
平成 31年 4月	「看護師特定行為研修センター」開設(今村総合病院)
令和 元年 8月	「笹貫訪問看護ステーション愛の街」と「谷山病院訪問看護室」が統合合併
10月	「かごしまオハナクリニック」開設
令和 3年 5月	「住宅型有料老人ホームあいゆいの家」開設

公益財団法人 慈愛会の公益目的事業

地域が必要とする高度・専門的な医療の提供及び医療・介護・福祉が一体となった総合的な介護・福祉サービスの提供並びに地域の医療を担う人材育成に関する事業

1 高度医療機器を要する高度・専門的な急性期医療の提供

(今村総合病院・いづろ今村病院・慈愛会クリニック・七波クリニック・高麗町クリニック・かごしまオハナクリニック 他)

- a. ATLを中心とした血液がん及び進行がん(消化器がん)の治療に関する高度先進医療の提供
- b. 脳卒中の早期診断と早期治療(外科的治療を含む)に関する高度先進医療の提供
- c. 糖尿病専門医療の提供
- d. 初期から第三次救急医療(脳卒中)の提供

2 精神障害者等に対する総合的な医療の提供及び社会復帰の支援並びに介護・福祉サービスの提供

(谷山病院・奄美病院・徳之島病院・介護老人保健施設 愛と結の街・社会復帰施設・今村総合病院 他)

- a. 精神科救急医療の提供
- b. 身体合併症を伴う精神科医療の提供
- c. 結核を伴う精神科医療の提供
- d. 離島・へき地における精神科医療の提供及び社会復帰に向けた総合的な支援
- e. 身体合併症を伴う利用者への介護・福祉サービスの提供
- f. 子ども、子育て支援等に係る総合的な支援

3 地域の医療を担う人材育成等の地域医療の支援

(鹿児島中央看護専門学校 他)

- a. 医療技術の高度化、高齢化社会の進展に対応した地域住民の医療を確保するための看護師の養成
- b. 臨床研修医・専門医等の医療従事者の教育・育成
- c. 政府間協定に基づく外国人看護師等候補者の教育・育成
- d. 生活困窮者に対する無料低額診療及び生活支援
- e. 災害医療支援活動

1 先進的な医療機器を要する高度・専門的な急性期医療の提供

救急医療と専門医療を充実させ、地域のニーズに対応し地域医療に貢献

今村総合病院



当院は1984年に内科専門病院「今村病院分院」として、鹿児島市鴨池新町に76床で開設しました。その後増改築を重ね、高度急性期・急性期医療を担う地域密着型総合病院という位置づけから、2017年の新棟の開設に伴い「今村総合病院」と名称を変更いたしました。

救急医療では、ヘリポートの設置と2019年10月に救急車を導入し、これまで以上に救急患者様の対応が可能となりました。

がん診療では、手術・化学療法・放射線治療と集学的治療を行っています。またそれぞれの診療科において、専門医療の充実に努力しています。

器質的疾患を有する精神科の患者様の受入れが可能な病院は、鹿児島県内では鹿児島大学病院と当院だけです。

外来機能では自動受付機や自動精算機を導入し、病棟は常にスタッフが患者様の見守りができるように、360度見渡せるスタッフステーションを設けました。

2021年度の重点目標として、1.急性期総合病院としての機能の充実、2.救急体制の強化、3.総合診療体制の構築に向けた取組みを設定しております。

院内の工事・移動がまだまだ予定されていますが、地域に密着した安全・安心で高度な医療を、慈愛の心でいつでも提供できる希望のある今村総合病院を構築していきたいと考えています。

●診療科目

救急科、外科、消化器外科、内科、血液内科、腎臓内科、人工透析内科、消化器内科、糖尿病内科、呼吸器内科、脳神経内科、循環器内科、放射線科、泌尿器科(人工透析)、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、気管食道・耳鼻咽喉科、病理診断科、脳神経外科、麻酔科、ペインクリニック内科、リハビリテーション科、精神科、整形外科、小児科、産科、婦人科、歯科口腔外科、腫瘍内科、感染症内科、肝臓内科

●病床数

428床(一般330床(内、ICU10床 SCU9床) 回復期リハビリ50床 精神48床)

急性期医療と在宅医療をつなぐ架け橋としての役割を担う

いづろ今村病院



令和元年5月で創立85周年を迎えた当院は、これまで培ってきた専門施設としての地域での役割（血液疾患、糖尿病、IBD、眼科における専門医療）をこれまで同様に果たしつつ、その一方で、かかりつけ医や在宅療養診療所、急性期病院と連携を取り、在宅医療を支援する役割、急性期医療と在宅医療をつなぐ架け橋としての役割を担っています。

令和2年3月に在宅療養支援病院となりました。患者さんと長くお付き合いする病院を目指しています。長くお付き合いすると、必ず患者さんは歳をとり、病気を繰り返し、ADLが低下していきます。患者さんには医療だけではなく生活支援も必要となり、制度上は医療と介護で支えていくことになります。

これらの役割を十分に機能させる病棟、外来機能を維持していくためには、他医療・介護等関係機関との密な連携が重要課題です。その為に地域連携室の強化を行っていきます。退院支援ナースとしてのキャリアを持つ専任ナースを配置し、院長直轄の部署として、より迅速に的確にかかりつけ医の先生方、急性期病院からの受け入れを行えるようにしていきます。

- 診療科目 内科（総合診療） 循環器内科 消化器内科 血液内科 糖尿病内科 外科 消化器外科 大腸・肛門外科 婦人科 眼科 放射線科 緩和ケア内科 皮膚科 及び人間ドック
- 病床数 115床（一般42床 地域包括ケア53床 緩和ケア20床）

2 精神疾患を持たれた方、介護が必要な方に対する総合的な医療の提供及び社会復帰の支援並びに介護・福祉サービスの提供

最先端の医療環境が整備され、地域社会との共生を目指す「精神科医療専門病院」

谷山病院

谷山病院は、鹿児島市南部地域の精神科医療専門病院として昭和28年現在地に開設しました。平成18年7月に病院を新築し、充実した心安らぐ医療環境が整備され、プライバシーやアメニティを重視する患者様の要望にも応えられるようになりました。精神科急性期治療病棟、認知症治療病棟、精神療養病棟など病棟の機能分化を進め、作業療法、デイ・ナイト・ケア、訪問看護ステーションとの連携など精神科リハビリテーション部門への取り組みも強化しています。また、認知症疾患医療センターの運営をはじめ、アルコールリハビリテーションプログラム、禁煙外来の体制も整備、鹿児島大学病院や県内精神科クリニック、近隣の一般科病院との連携を図り、「24時間365日診療体制」を整え、開かれた精神科医療を実践しています。さらに、就労支援センター、地域活動（相談）支援センター、グループホームなどの社会復帰施設とも連携し、精神科病院に求められている患者様の地域移行・地域定着支援を含めた医療福祉を提供しています。



- 診療科目 精神科
- 病床数 392床

社会的な視野に立ち、全人的で幅広い医療保健福祉チーム活動を推進

奄美病院



奄美病院は、昭和34年9月の開設以来、奄美群島の精神科医療を担ってまいりました。

平成15年7月に新築移転後、精神科急性期治療病棟、精神療養病棟、認知症治療病棟を開設し、病棟の機能分化により専門性を高め、症状に応じた適切な精神科医療を提供しております。

地域における当院の役割として、従前からの「精神科医療」の提供はもちろん、認知症疾患医療センターを開設し認知症疾患への対応、自殺対策、自立支援協議会等への専門職派遣等、多岐に渡り、他の医療機関、行政機関、障害福祉サービス事業所等と連携を密に対応しております。

また、精神科無医地区である喜界島へ、概ね月一回の巡回診療も継続して取り組んでいます。

長期に入院されている方のさらなる退院促進を図り、また患者様やご利用者が地域で安心して生活できるよう、併設の訪問看護ステーション「イルカ」、障害福祉サービス事業所「あらいぐま」、グループホーム「ひまわり」、指定特定相談支援事業所「あゆみ」と奄美病院グループのチカラを結

集して、地域での暮らしをサポートしています。

奄美における「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築をさらに推し進め、患者様やご利用者本位の『時々「入院」いつもは「地域」』の生活を支え、精神科中核病院として、今後も地域医療に貢献してまいります。

- 診療科目 精神科
- 病床数 348床

徳之島の美しい自然に囲まれて、患者さまと共に進む

徳之島病院



昭和40年に徳之島、沖永良部島、与論島の精神科医療を目的として開設した徳之島病院は、窓からは珊瑚礁に打ち寄せる波と太平洋が一望に見渡せ、南国の魅力ある自然に囲まれた施設です。「地域と患者様に愛される病院」を目標に、各島への無料巡回相談や地域参加の院内レク、各種行事、断酒会など療養者や地域の皆様と共に日々励んでいます。

平成12年度から訪問看護を皮切りに作業療法、デイ・ケア、ナイト・ケア、精神科グループホームを設立して患者様の早期社会復帰に積極的に取り組んでいます。

平成24年11月1日に新築移転し、南三島の皆様により良い医療サービスを提供しています。

- 診療科目 精神科
- 病床数 206床

心豊かな生活を目指し、共に育むふれあいの街

介護老人保健施設 愛と結の街

介護老人保健施設 愛と結の街は、介護が必要な身体合併症（たとえば脳梗塞や、脳出血、がん、糖尿病、認知症など）を伴うご利用者が、1日でも早く日常生活ができる事を目標にしています。そのために施設では医師や看護師、介護福祉士、セラピストなどの「看護、介護、医療、リハビリのプロ」を



配置し、医療機能やリハビリテーション機能を備えています。また、介護支援専門員や支援相談員などの「お悩み相談のプロ」も配置し、介護が必要な高齢者の皆さんとそ

ご家族を支えています。愛と結の街は、「一定の期間滞在してケアを受ける」入所機能だけでなく、「ちょっと泊まってケアを受ける」ショートステイ機能、「家から通ってサービスを受ける」通所機能、「スタッフが家に伺いケアをする」訪問機能も備えています。通所機能では、身体の介護だけではなく認知症の方に対する通所介護も備えています。また、継続して医療（胃ろう、インシュリン注射、在宅酸素療法）が必要なご利用者のために、専門知識を習得した職員を配置しており、医療と福祉、施設と在宅を結びつけて、あらゆるケア（介護）のニーズに応える事のできる、総合的なサービス提供をする施設です。

私たちは、ご利用者やそのご家族が安心して住み慣れた地域で1日でも長く在宅生活が継続できるよう、一緒に悩みながら応援していきます。

<愛と結の街施設理念>

心豊かな生活を目指し、共に育むふれあいの街

- 1 利用者と共に自己実現を目指します。
- 2 家族と共に信頼と協力で在宅をサポートします。
- 3 地域と共に安全と安心して暮らせる社会を目指します。

●入所定員 100名(内、認知症専門棟50床) ●通所定員 25名

3 地域の医療を担う人材育成等の地域医療の支援

「奨学と慈愛」を理念に、共に学び共に高め合う

鹿児島中央看護専門学校



本校の創立理念である「奨学と慈愛」のもとに、人間を広く深く理解し、生命の尊厳と人格を尊重する豊かな人間性を持った看護師を育成します。特に保健医療介護に関する広い視野と高い見識を持ち、科学的思考を基盤とした看護実践力を育成する看護基礎教育を目指しています。

学生ひとり一人が在学中、目標に向かって共に学び高め合う充実感を体験しながら、看護専門職として主体性と倫理観、責任感を醸成する教育を実践しています。

また、臨地実習のほとんどが関連施設で行われるため、スタッフの指導体制も充実しており、教育環境に恵まれています。



第二校舎



母性看護実習室



大教室

●3年課程看護科

学生数 1学年40名(全日制)

●2年課程(通信制)看護科

(令和4年3月31日閉課程)

学生数 1学年150名(通信制)

充実した患者教育により患者様の支えになる「糖尿病専門クリニック」

慈愛会クリニック



慈愛会クリニックは、平成17年6月今村病院から独立し、糖尿病専門クリニックとして開院しました。

近年、糖尿病は増加しています。糖尿病患者様が良好なコントロールを維持し、合併症の発症を予防し、健常人と変わらぬ社会活動を可能にするためには、生涯にわたる患者様と医療側の密接な連携による療養指導が必要です。

当院では、糖尿病療養指導士をはじめとするスタッフ全員で「医師が患者様に指導する治療方針を正しく適切に患者様に伝え、患者様が自己管理できるように援助すること」を心がけています。そして、他院からの紹介患者様をはじめ定期通院中の患者様の糖尿病診療の質を高めるよう努力しています。

さらに、平成18年8月から「禁煙外来」を開設。皆様の生活習慣病予防に努めております。

患者様の日常を共に振り返り、個々の生活に合わせた治療を行う「糖尿病専門クリニック」

七波クリニック



七波(ななみ)クリニックは平成18年1月1日開設いたしました。当院は、今村病院分院の糖尿病外来が分離した形で設立され、糖尿病内科を専門科として診療を行っております。今村病院分院糖尿病内科外来は、昭和62年に開始以来、多くの糖尿病患者さんが通院されましたが、昨今の糖尿病患者数の増加は著しく、限られたスペースとスタッフでは対応困難な状況となっていました。

そこで、糖尿病専門外来として当院を開設し、定期通院される患者さんを中心に診療を行っております。糖尿病は食事療法、運動療法を基本とし、患者さんは日常生活の中で様々な自己判断を必要とされます。当院では、再診当日までの患者さんの生活と一緒に振り返り、療養上の問題点を見つけ、個々の生活に合わせた運動方法や生活指導などを行っております。自己管理のささやかな手助けとなるよう、スタッフ一同努めております。

“第三の医療”…在宅という選択肢を。外来でも入院でもない、自宅での療養を実現する在宅療養支援診療所

高麗町クリニック



高麗町クリニックは、在宅療養支援診療所として平成21年11月1日に開院しました。午前中の一般外来の他、脳卒中後遺症・認知症等様々な疾患で、通院の困難な患者様への定期的訪問診療はもとより、緊急往診・がん末期等の自宅看取りにも24時間体制で対応しています。

また、理学療法士が患者様宅へ訪問し、生活の向上・維持を目的とした専門的リハビリテーションも提供しています。

「患者様とご家族の状態、受診の理由はそれぞれ。対話を大切に、求めることに応える」を基本方針として、慈愛会各施設をはじめとし、提携病院・周辺医療機関との密な連携・協力をしながら、良質な在宅医療サービスの提供を通じて皆様の療養支援を行います。

Ohana(家族)を思うように、外来での健康維持・増進から、終末期の在宅緩和・看取り医療まで、切れ目ない「かかりつけ機能」を実践

かごしまオハナクリニック



すこやかに、おだやかに住まいでの毎日を過ごせるように、見守り支える地域のかかりつけ診療所をめざすという基本方針で、2019年10月にオープンしました。健康な方へはその維持・増進を支援し、慢性疾患の方は適切にコントロールし、疾病の治療後は再発予防を支援し、そして多様な理由でひきこされる身体的、心理的な苦痛は、その軽減に尽力し、支え続ける役割を果たします。また、急性期総合病院の門前診療所の強みを活かし、急性病態時のER受診、専門診療科受診の適応判断と橋渡しを行い、そして入院時は、早期退院の支援と退院後のフォローアップ、在宅での定期診療、終末期の在宅緩和・看取りのケアまで、慈愛会や地域の医療・福祉施設と綿密に連携しながら、地域のかかりつけ患者を切れ目なくサポートしてまいります。

公益財団法人 慈愛会 組織図





公益財団法人 慈愛会
<https://www.jiaikai.or.jp>



鹿児島ユナイテッドFC
 KAGOSHIMA UNITED FC

慈愛会は鹿児島ユナイテッドFCを応援しています